

はじめに

皆様には、平素から公衆衛生活動の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。平成17年度の組織改編により、出雲保健所として再スタートして10年を超え、この間、地域の健康に係る状況も変化してきました。

地域の健康づくり、子供たちの健やかな成長、高齢者・障がい者等の支援、感染症や食中毒等の予防、動物愛護、廃棄物適正処理や環境汚染防止等々の課題に対して、行政や関係機関のみならず、地域住民と共に人と人のつながり・絆（ソーシャルキャピタル）を大切にした健康なまちづくりを推進することが求められています。

公衆衛生の第一線機関として、保健所の役割はますます重要となっています。出雲保健所では、今後とも、出雲市や関係機関・団体および住民の方々と連携を図りながら、地域の課題に基づいて各事業を推進してまいります。

ここに、平成26年度事業実績と平成27年度実施計画をまとめました。今年度は、下記のことを重点的に取り組んでまいります。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

1 圏域保健医療計画の推進

「保健医療計画（出雲圏域編）」「圏域健康長寿しまね推進計画」、「圏域健やか親子しまね計画」の推進に努めます。このため、保健医療対策会議をはじめ、健康長寿しまね推進会議や母子保健推進検討会、その他各種会議で事業の推進を図るとともに、進行管理を行います。

2 生涯を通じた健康づくり活動の推進

圏域健康長寿しまね推進会議の構成団体との連携を図りつつ、子どもから高齢者までライフサイクルに応じた健康づくり活動の推進に取り組んでまいります。特に壮年期の健康づくりを柱とした職域との連携に力を入れるほか、思春期保健対策については学校保健と連携して取組を推進します。また、出雲市が進めているコミュニティセンター単位の健康づくり活動を支援します。

3 地域医療構想策定と在宅医療の推進

医療機能分化・連携と在宅医療の推進は、圏域でも重要な課題です。圏域における地域医療構想の作成に着手するとともに、出雲市と協力して在宅医療・介護連携を推進します。

4 精神障がい者に対する地域支援と自死対策の推進

こころの健康相談や家庭訪問に力を入れるほか、ネットワークを生かした多機関・多職種の精神保健包括支援会議・ワーキング部会による総合的な支援を検討します。

また、出雲市や関係機関・団体と連携して、出雲圏域自死総合対策行動指針に沿った取組を推進します。

5 食中毒・感染症をはじめとする健康危機管理対策の推進

平成の大遷宮を契機として、観光客も多くなっています。安全安心な食の提供のために食中毒予防対策に重点的に取り組みます。

感染症デイリーサーベイランスシステム等を効果的に活用し、流行状況の把握、啓発を図るとともに、学校、保育所、高齢者施設等とのネットワーク強化に努めます。

6 動物愛護の推進

「動物愛護棟」を中心に、犬・ねこの譲渡を推進するとともに、適正飼育の啓発に取り組みます。また、地域で活躍している動物愛護団体等とも連携した取組を推進します。

7 環境にやさしいまちづくりの推進

廃棄物の減量化・リサイクル推進のための啓発活動に取り組むとともに、不法投棄の監視、廃棄物処理施設の監視指導を行います。

平成27年4月

出雲保健所長 中川 昭生

1 沿 革

出雲保健所

昭和12年	4月	保健所法制定
昭和16年	7月	簸川保健所発足（出雲市今市町743-3）
昭和19年	10月	大田町に簸川保健所大田支所設置
昭和23年	4月	大田支所が保健所として独立
昭和39年	7月	庁舎移転（出雲市北本町3-2-1）
	10月	出雲保健所に名称変更
昭和53年	4月	県機構改革により、保健所がⅠ型（6か所）、Ⅱ型（4か所）に類別され、Ⅱ型保健所となる。
平成4年	7月	出雲保健所新庁舎竣工（出雲市塩冶町223-1）
	8月	出雲保健所開設50周年記念式典
平成6年	4月	組織改正により、出雲健康福祉センター保健環境部（出雲保健所）となる。 同時に3課1室から4課へ変更となる。
平成10年	4月	組織改正により、出雲健康福祉センター（出雲保健所）に名称変更
平成17年	4月	組織改正により、簸川福祉事務所及び出雲健康福祉センターが廃止され、これに伴い2部8グループの出雲保健所となる。
平成25年	4月	組織改正（地方機関に係長制導入等）に伴い、2部8課体制となる。

2 管内の概況

(1) 自然的条件

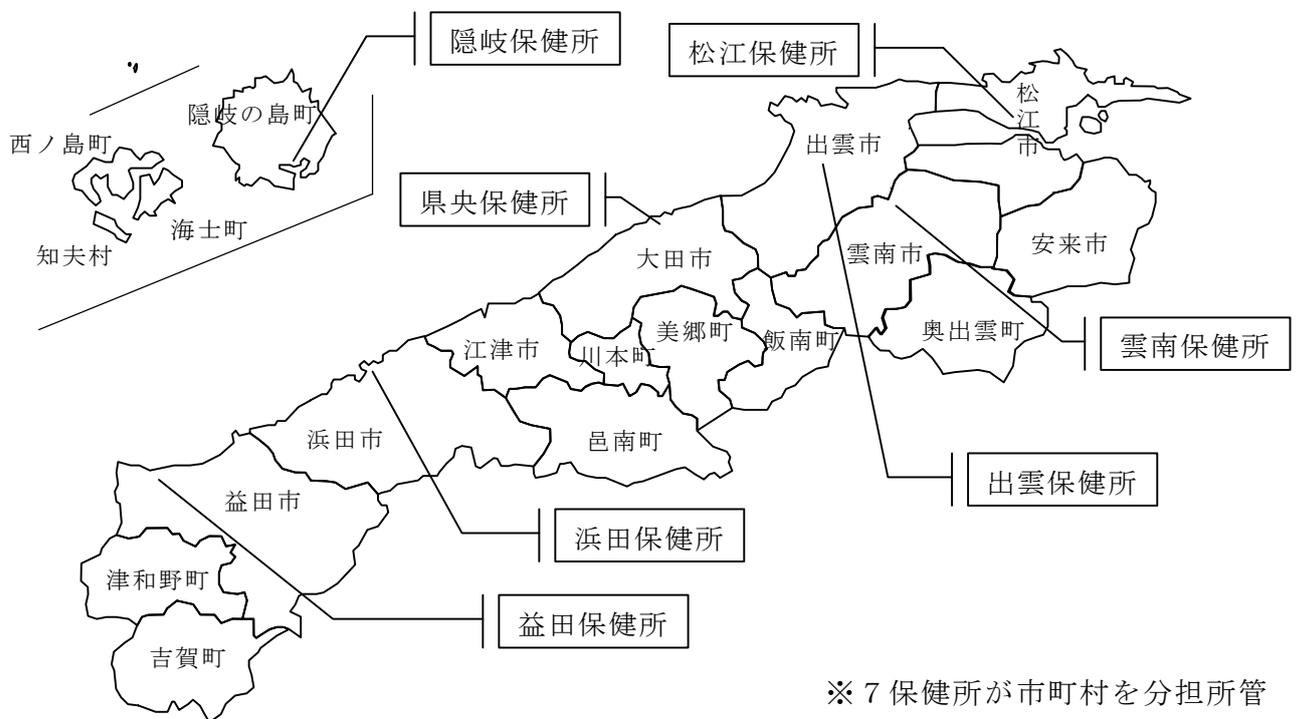
ア 地理的位置、地勢

出雲保健所は出雲市の1市を所管する。

出雲市は、県の東部に位置し、北部は国引き神話で知られる島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されており、東西約30km 約39km 圏に広がり、面積は624.13k km²で全県面積の9.3%を占めている。

出雲平野は、中国山地に源を発する斐伊川と神戸川の二大河川により形成された沖積平野で、斐伊川は平野の中央部を東進して宍道湖に注ぎ、神戸川は西進して日本海に注いでいる。

日本海に面する島根半島の北及び西岸は、リアス式海岸が展開しており、海、山、平野、川、湖と多彩な地勢を有している。



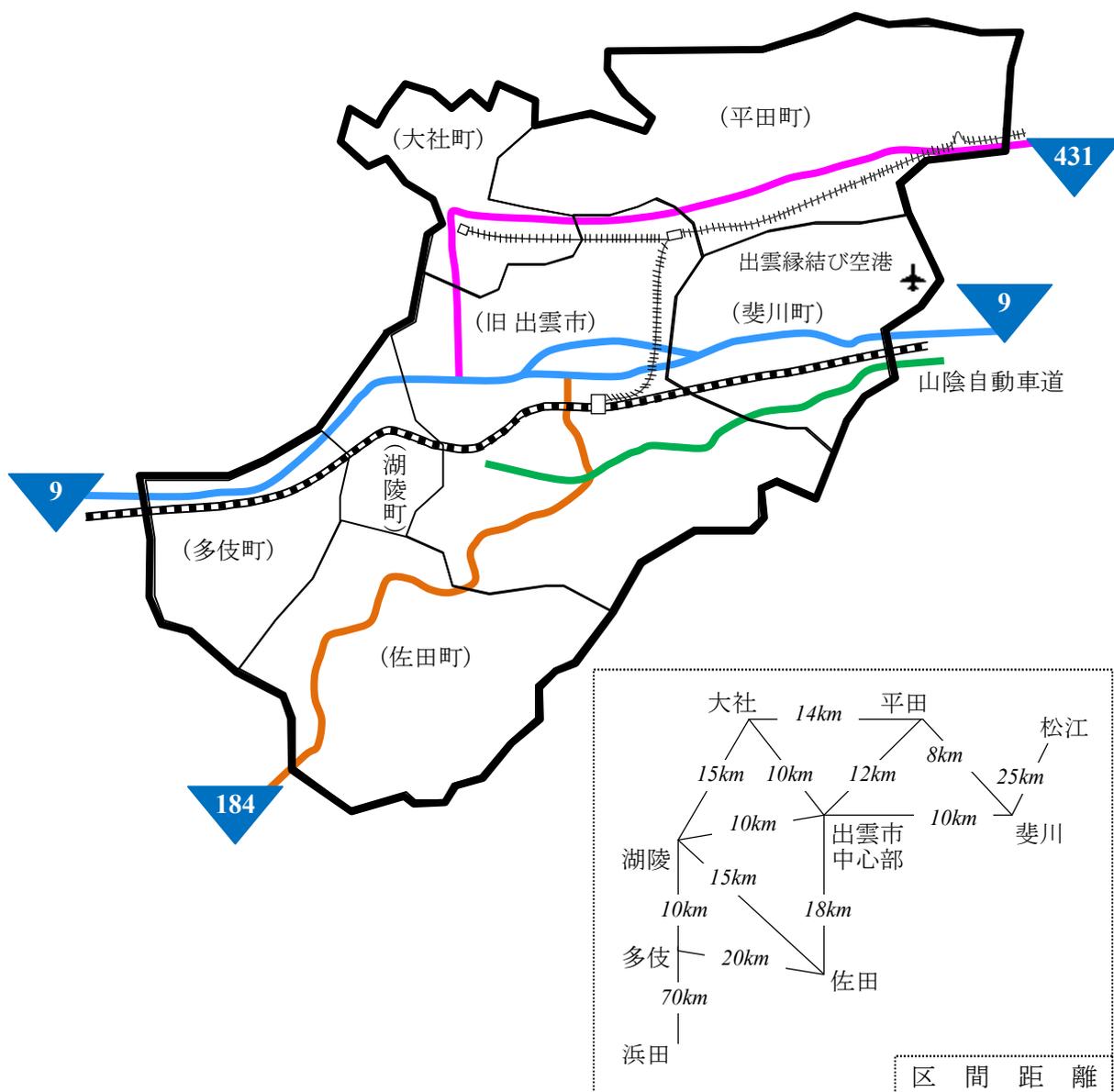
※7保健所が市町村を分担所管

イ 交通条件等

幹線道路は管内を東西に国道9号が横断し、それに並行して山陰自動車道（斐川～西出雲区間）、JR山陰本線が走っている。また、市内中心部から佐田町に向かって国道184号が縦断しており、さらに宍道湖北岸に沿うように国道431号が松江市に向かって走り、並行して一畑電鉄線が走っている。

航空路は宍道湖の西岸に接した斐川町に出雲縁結び空港がある。平成25年度実績で年間80万人以上の利用があるとともに、東京路線をはじめとする4路線を有し、地方管理空港としては全国トップレベルの空港である。

このように、管内は交通の拠点として重要な地理的位置にある。

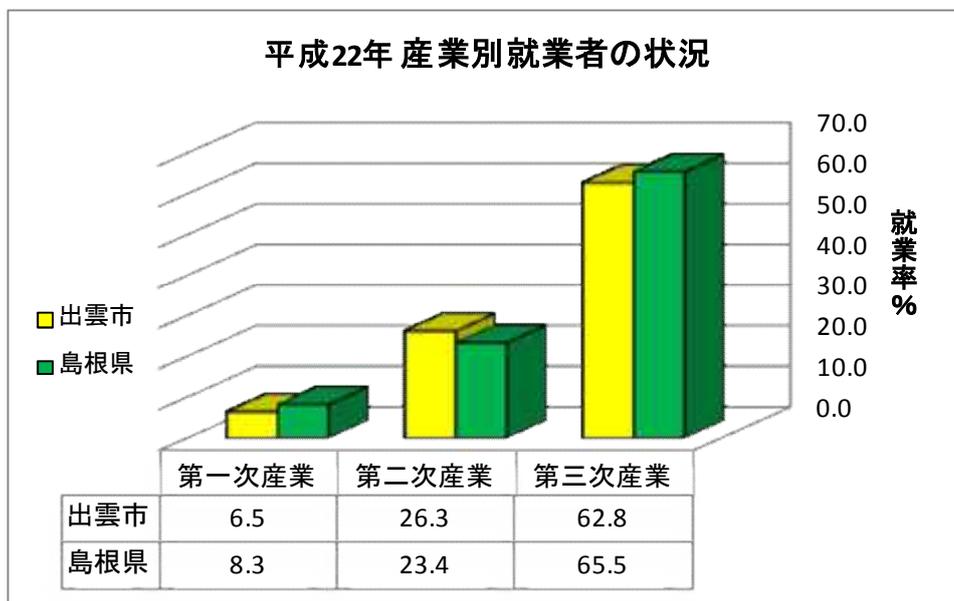
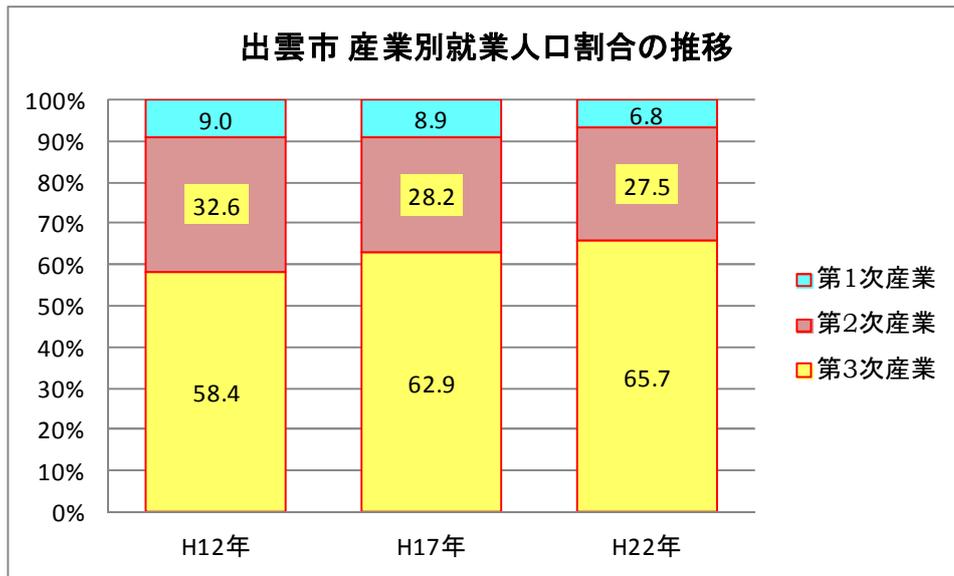


(2) 経済状況

ア 産業別就業者の状況

管内における産業別就業人口は、第一次産業及び第二次産業の就業者が減少傾向にある一方、第三次産業の就業者は増加している。(平成12、17、22年国勢調査)

平成22年国勢調査の結果によれば、管内における就業別人口割合は、島根県平均と比べると第一次産業が1.8ポイント低く、第二次産業では2.9ポイント高く、第三次産業では2.7ポイント低くなっている。



(3) 人口構造（推移と現状）

ア 総人口及び年齢別人口

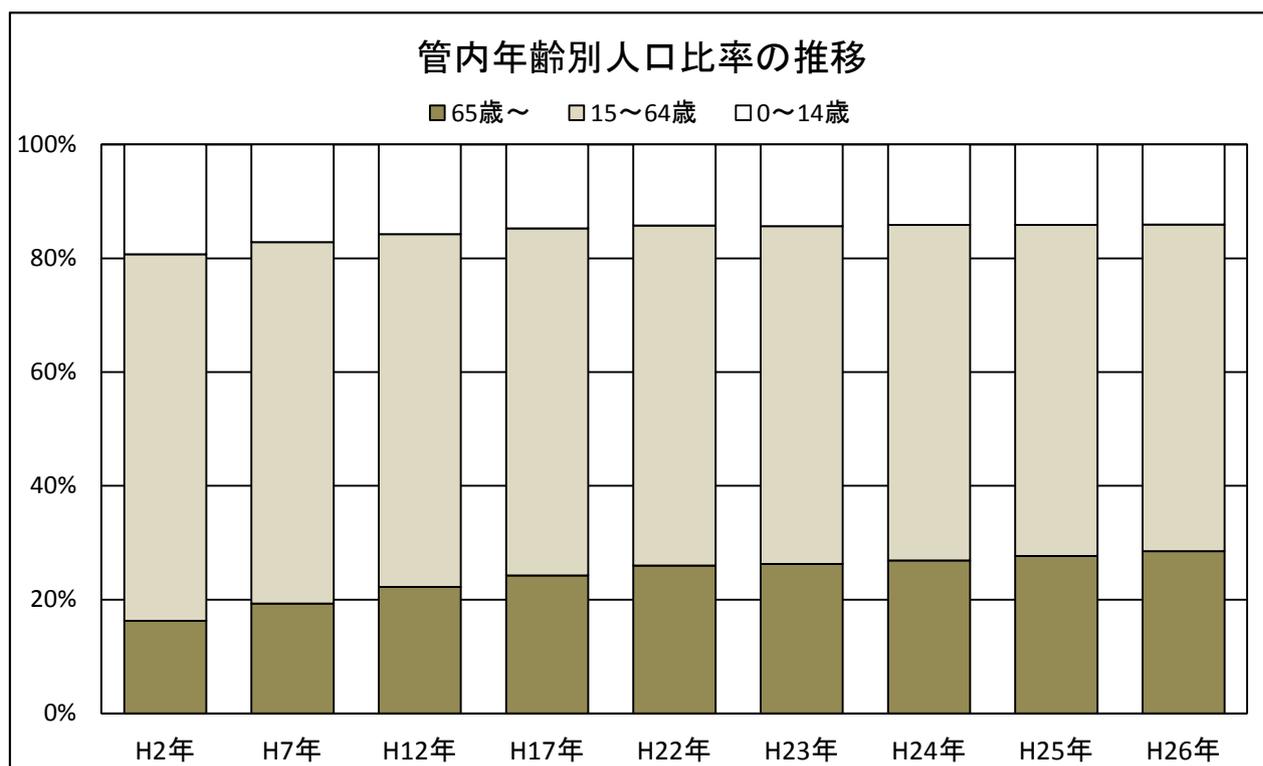
管内人口は、平成2年には171,422人であったが、その後わずかながら増加を続け、平成11年以降は173,000人台で推移していた。その後は、平成14年の173,799人をピークに減少の傾向にある。

また、平成2年の老年人口（65歳以上）の比率（高齢化率）は、16%程度であったが、平成8年には20%に達し、平成26年には28%を超えている。

（国勢調査結果及び10月1日現在の推計人口）

○管内の年齢別人口比率の推移

		H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
人口総数		171,422	172,001	173,776	173,751	171,485	171,131	170,633	170,555	170,428
内訳	0～14歳	33,001	29,488	27,334	25,633	24,402	24,270	24,085	24,055	23,962
	構成比	19.3	17.1	15.7	14.8	14.2	14.2	14.1	14.1	14.1
	15～64歳	110,410	109,261	107,782	105,863	102,375	100,558	100,558	99,248	97,769
	構成比	64.4	63.5	62.0	60.9	59.7	58.8	58.9	58.2	57.4
	65歳～	27,879	33,245	38,599	42,050	44,584	44,440	45,866	47,133	48,573
	構成比	16.3	19.3	22.2	24.2	26.0	26.0	26.9	27.6	28.5



イ 出生数

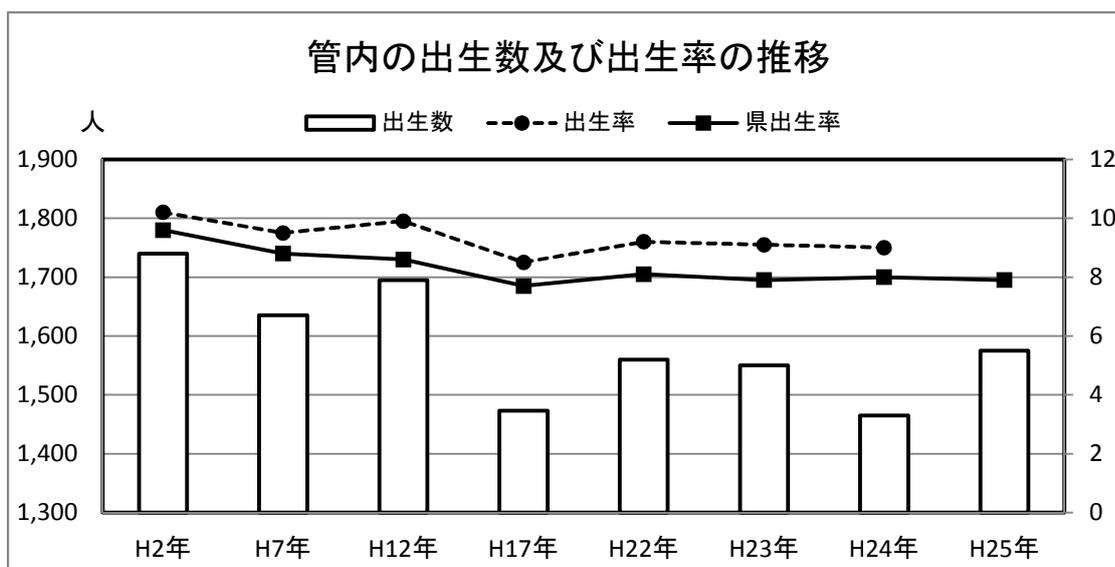
管内の出生数は平成2年以降減少傾向を示し、平成9年にはそれまでで最も低い数値を記録した。その後漸増したものの平成12年をピークに再び減少傾向が続いている。

なお、管内の出生率は、島根県全体よりも常に高い状況である。

(県健康福祉総務課)

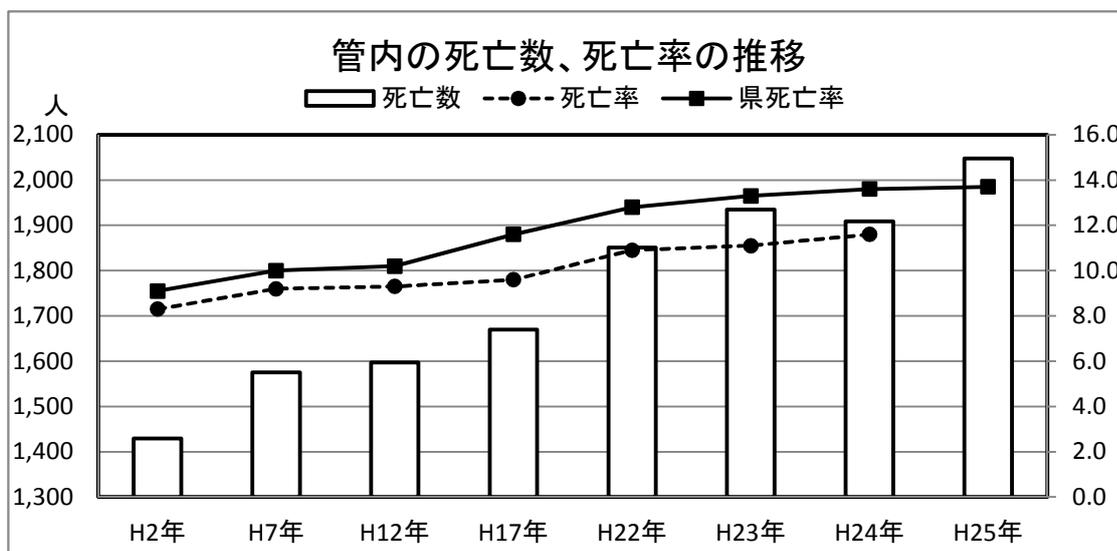
○管内出生数、出生率の推移

	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年
出生数	1,740	1,635	1,695	1,473	1,560	1,550	1,465	1,575
出生率	10.2	9.5	9.9	8.5	9.2	9.1	9.0	
県出生率	9.6	8.8	8.6	7.7	8.1	7.9	8.0	7.9



○管内死亡数、死亡率の推移

	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H23年	H24年	H25年
死亡数	1,429	1,575	1,597	1,670	1,851	1,935	1,909	2,048
死亡率	8.3	9.2	9.3	9.6	10.9	11.1	11.6	
県死亡率	9.1	10.0	10.2	11.6	12.8	13.3	13.6	13.7



3 出雲保健所の概況

(平成27年4月1日現在)

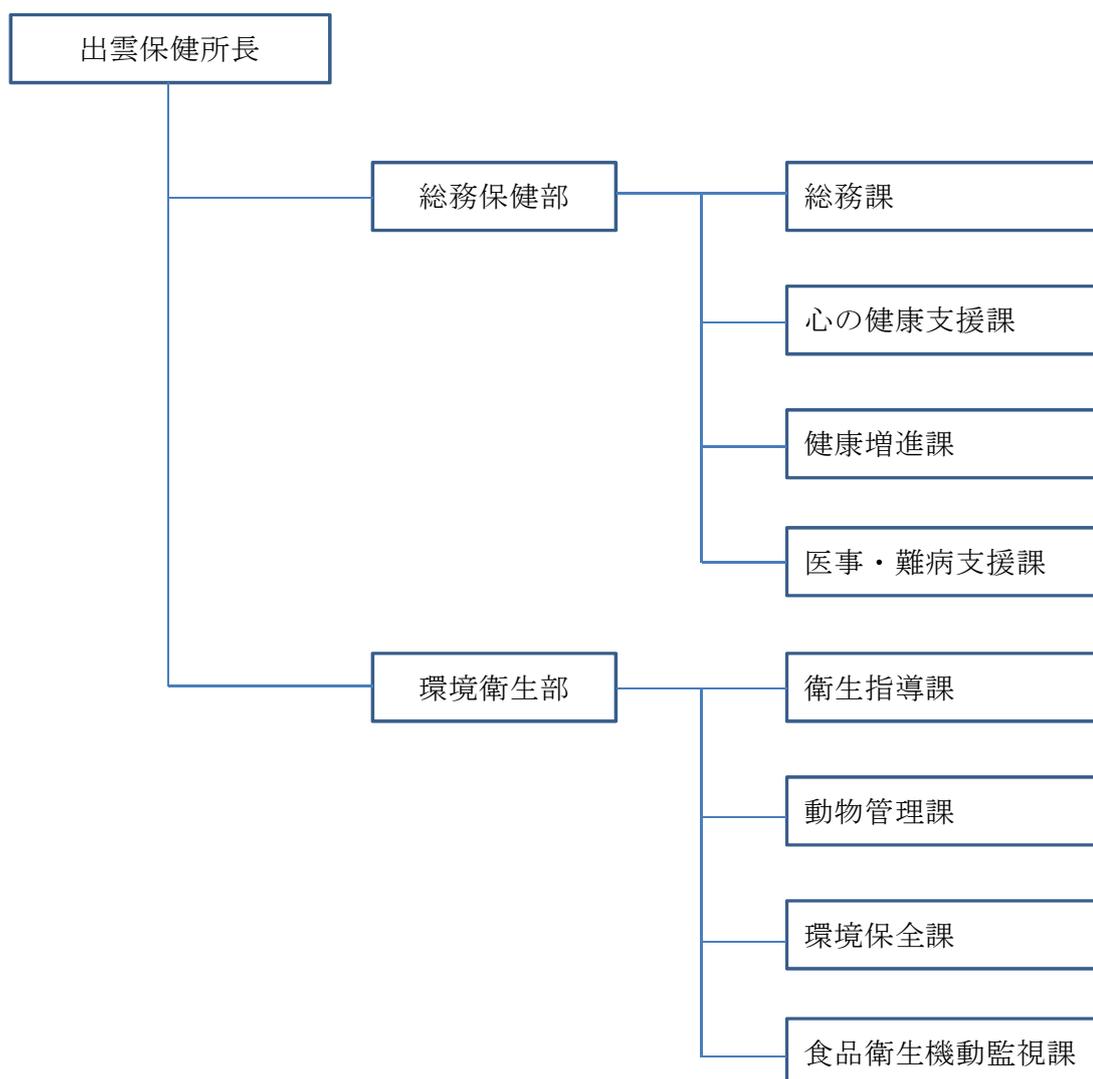
(1) 施設等の概要

出 雲 保 健 所	
組 織	総務保健部 環境衛生部
所 在 地	出雲市塩冶町223-1
敷 地 面 積	庁 舎 14,730㎡ その他 489㎡
建 物 面 積	庁 舎 2,908㎡ その他 198㎡

(2) 職種別職員数

職 種	所 長	総務保健部	環境衛生部	合 計
行 政 職		5	10	15
医 療 職	1	15	8	24
医 師	1	1		2
保 健 師		9		9
栄 養 士		3		2
歯科衛生士		1		1
臨床検査技師			1	1
診療放射線技師		1		1
作業療法士				
獣 医 師			5	5
薬 剤 師			2	2
嘱 託 職 員		3	2	5
保 健 師				
一 般 事 務		1		1
食品適正表示指導 啓発事務			1	1
特定疾患事務		2		2
廃棄物監視専門員			1	1
合 計	1	23	20	44

(3) 組織図



(4) 組織運営図

保健所運営会議	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所運営に関する主要事項の協議 ・各課の情報交換、連絡調整 ・行事、イベントの周知等
開 催 日	毎月最終金曜日
メンバー	所長、部長、医療専門幹、課長
事務局	総務課



(5) 出雲保健所 平面図

